



小さな会社だからできる 求人大作戦！

全国的に人手不足が叫ばれるなか、中小企業の採用事情は厳しさを増す。本書は1000人規模の会社が行う採用活動に焦点を絞り、何を参考にどこから手を付ければ良いか、初歩の初歩から指南する。

求人広告のヒントとして示すのが「上り坂がキツイ高台の家」を「素晴らしい眺望が望める家」などと換言している「不動産広告」。要は会社にとって必ずしもプラスではない情報でも、求職者にとってはメリットになり得ると示唆する。駅から離れた通勤の便の悪い会社であっても、「マイカー通勤可。明日からラッシュアワーも関係なし」とアピールすれば、車好きや通勤で苦労した人には響く可能性があるという。

(糟谷芳孝著、自由国民社刊、☎03-6233-0781、1800円+税)

デジタルまゆ知識💡 気をつけたい「デジタルタトゥー」

近年「デジタルタトゥー」という言葉を聞くことが多くなりました。「タトゥー」は身体に入れる刺青(いれずみ)のこと。一度肌に入れてしまうとなかなか消えにくいとされています。

「デジタルタトゥー」になりうる情報は、当事者にとって、不都合・不利益な内容のことが多く、過去のSNSなどでの発言内容や倫理に反した画像の投稿は、仮に削除要請を出して投稿先を削除したとしても、それらが消える前に保存した人により再度転載されて拡散していくため、ネット上に半永久に残り続けるものもあります。「デジタルタトゥー」は費用をかけたからといって全部は消しきれません。まずは「火のない所に煙は立たぬ」を肝に銘じ、SNSなどに自分のプライベートなことや不適切な画像をむやみに掲載するのは絶対にやめましょう！



編集後記

今年の夏は、お盆に入る頃から涼しくなり、過ごしやすい日が多かったように思います。雨の日も多く外に出られない日が続きましたが、いわき市では新型コロナのデルタ株が急激に感染拡大したため、いずれにしても外出はままならない状況だったと思います。

さて、2020東京オリンピック開催期間は、世界中から集まったアスリートたちの熱き戦いに手に汗を握って観戦した人も多かったのではないのでしょうか。巣ごもり状態の私たちに多くの驚きや感動を届けてくれました。

ところで、現時点で国民の約4割が2回目のワクチン接種を終えたようですが、6～7割の人の接種が終わらないと感染拡大も歯止めがかからないとも言われており、更にはブレイクスルー感染(「2回ワクチン接種済み」という壁もすり抜けて感染するという意味らしい)も増加しているとのこと。まもなくパラリンピックも開会しますが、取り巻く状況は困難さを増すばかりで、早くコロナが収束してくれるよう願うばかりです。

(専務理事 鈴木 寿信)